

MESHSTATS

アプリケーションアイデアソン2024

テーマ

消滅可能性都市

× MESHSTATS

人口減少の影響を可視化し 対策を考えるための 統計活用



株式会社メタ・イズム



消滅可能性都市とは

**少子化や人口移動に歯止めがかからず、将来に消滅する可能性がある自治体を指す。
全国の市区町村の半分にあたる896自治体を指定して、早急な人口対策を促した。**

2014年5月、民間有識者でつくる日本創成会議が打ち出した考え方。

20～39歳の女性の数が、2010年から40年にかけて5割以下に減る自治体を消滅可能性都市に選んだ。

子どもの大半をこの年代の女性が産んでおり、次の世代の人口を左右するため。

日本創成会議は将来人口の推計に際して、20～39歳までに約3割の人口が大都市に流出することを前提としたのが特徴。

日本創成会議の推計によると、

青森、岩手、秋田、山形、島根の5県では8割以上の市町村に消滅可能性があると言われた。

なかでも人口が1万人を割る市区町村は「消滅可能性が高い自治体」と位置づけた。

一方、若い世代をひきつけている一部の自治体は、2040年にかけて若い女性が増えると推計している。

日本経済新聞 https://www.nikkei.com/article/DGXLASFS23H0H_T20C14A9NN1000/



(消滅可能性都市 関連記事)

群馬・南牧村 (なんもくむら)

(2015年記事より)

- 「日本で最も消滅が近い村」
- 「産業の衰退」
- 「買い物難民」問題。商店が3軒 10年後にはゼロに
- 「医療難民」「無医村」問題。唯一の診療所が閉鎖
- 「若者の流出」村には仕事もない

対策

- 「空き家活用」空き家を使った村民の受け入れに取り組み
- 「雇用創出」

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO92172300Y5A920C1110000/>

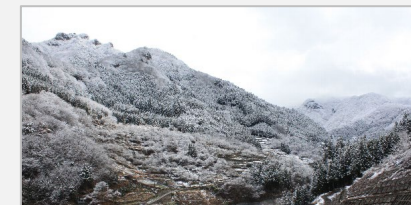
人口1,512人

男722人

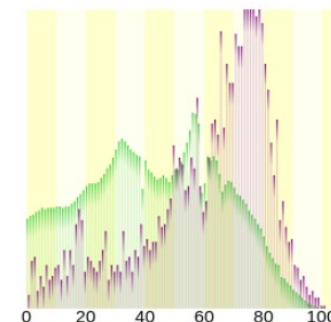
女790人

世帯885戸

令和5年11月末(住基)

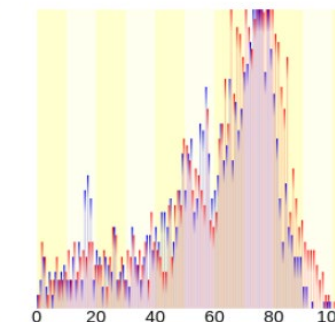


出典：南牧村HP <http://www.nanmoku.ne.jp/>



南牧村と全国の年齢別人口分布 (2005年)

■ 紫色 — 南牧村
■ 緑色 — 日本全国



南牧村の年齢・男女別人口分布 (2005年)

■ 青色 — 男性
■ 赤色 — 女性

南牧村と全国の年齢別人口分布 (2005年)

南牧村の年齢・男女別人口分布 (2005年)

出典：[https://ja.wikipedia.org/wiki/南牧村_\(群馬県\)](https://ja.wikipedia.org/wiki/南牧村_(群馬県))



消滅可能性都市が進む未来

消滅シナリオ

- ・自然消滅／合併
- ・集団移住／コンパクトシティー化

回復シナリオ

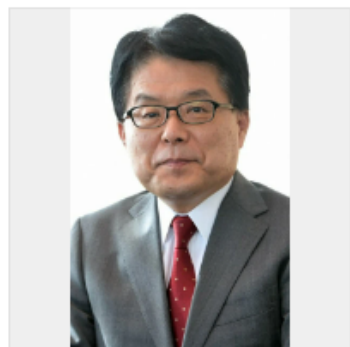
- ・対策による回復



(消滅可能性都市 関連記事)

<コモンエイジ> 「消滅可能性都市」1000超に拡大も 政府に増田元総務相が苦言

2023/12/31(日) 6:00 配信 1203



元総務相の増田寛也・日本郵政社長は、人口減少問題に警鐘を鳴らした「増田レポート」の発表から10年となるのを受け、毎日新聞のインタビューに応じた。この間の政府の地方創生の取り組みは「十分な効果を上げなかった」と指摘。将来的に「消滅」の恐れがある自治体数は、10年前の試算（896自治体）より増え、1000超に拡大している可能性があるとの厳しい見方を示した。

増田寛也元総務相（現・日本郵政社長）

2014年の発表から約10年が経過
当時よりも状況が悪化している可能性が指摘された

10年前の試算（896自治体）より増え、1000超に拡大している可能性がある

2023/12/31

<https://news.yahoo.co.jp/articles/43338660e8b86912dd58166396454b6eb82d0b5f>



消滅までのステージと「負の連鎖」

1. 人口減少
2. 民間事業者の衰退、撤退
3. 「●●空白地帯」の増加と、「●●難民」の増加
買い物難民、交通難民、医療難民、 etc...
4. 利便性の低下
5. 若年者の流出・高齢化率の上昇

1～5を繰り返す負の連鎖が起きる



消滅までのステージと「負の連鎖」

研究目的

1. 人口減少
2. 民間事業者の衰退、撤退
3. 「●●空白地帯」の増加と、「●●難民」の増加
買い物難民、交通難民、医療難民、 etc...
4. 利便性の低下
5. 若年者の流出・高齢化率の上昇

この部分はアイデアや
デジタル化によって
改善する余地がある

1～5を繰り返す負の連鎖が起きる



研究テーマ・仮説

1. 消滅可能性都市では人口減少の影響として、様々な変化が起きているはず。
2. その状況を可視化できれば、人々が何に困窮しているかが見えるのではないかな？
3. 消滅を回避するとしても、受け入れるとしても、
生活水準向上のために、対処すべきポイントが見えるようにならないかな？
4. すでに対策を打った地域があれば、その効果測定ができるのではないかな？



活用データ例

可視化のために、活用できそうなデータを列記する

人口動態を可視化する

過疎	人口減少率
消滅可能性	地域別将来推計人口

利便性を可視化する

通勤・通学時間	e-Stat通勤・通学時間平均時間
コンパクトシティ指標	集住率、一人当たりの自動車走行量

●●難民を可視化する

買い物難民	食料品アクセスマップ
医療難民	e-Stat無医地区等調査
交通難民・交通空白地帯	交通弱者数の推計
ガソリンスタンド難民	S S 過疎地市町村一覧
保育難民・待機児童	



参考資料等

- **日本創成会議**
日本創成会議・人口減少問題検討分科会 提言「ストップ少子化・地方元気戦略」 記者会見（平成26年5月8日）
<http://www.policycouncil.jp/>
- **食料品アクセスマップ**（農林水産政策研究所）
https://www.maff.go.jp/primaff/seika/fsc/faccess/a_map.html#3
- **SS過疎地市町村一覧**（SS過疎地対策ハンドブック - 資源エネルギー庁）※SS・・・ガソリンスタンド
https://www.enecho.meti.go.jp/category/resources_and_fuel/distribution/sskasochi/pdf/handbook.pdf
- **通勤・通学時間**（e-Stat 国勢調査 平成2年国勢調査 従業地・通学地集計その1）
<https://www.e-stat.go.jp/dbview?sid=0000031762>
- **無医地区等調査**（e-Stat 令和4年度無医地区等調査）
<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&layout=datalist&toukei=00450122&tstat=000001166266&cycle=0&tclass1val=0>
- **日本の地域別将来推計人口**（国立社会保障・人口問題研究所）
<https://www.ipss.go.jp/syoushika/tohkei/Mainmenu.asp>
- **2040年の高齢の交通弱者数の推計結果**（国立環境研究所）
「交通不便地域（鉄道駅から1km以上離れていて、1時間に1便以上発着するバス停がないメッシュ）」
<https://www.nies.go.jp/kanko/kankyogi/71/column5.html>



株式会社メタ・イズム

株式会社メタ・イズムでは、デマンド交通用のシステムをはじめ、
地方都市の課題解決に取り組んでいます。

デマンド運行・予約配車管理システム

スマート・デマンド 交通システム

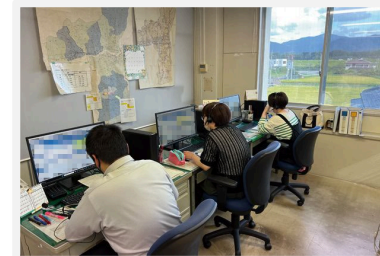
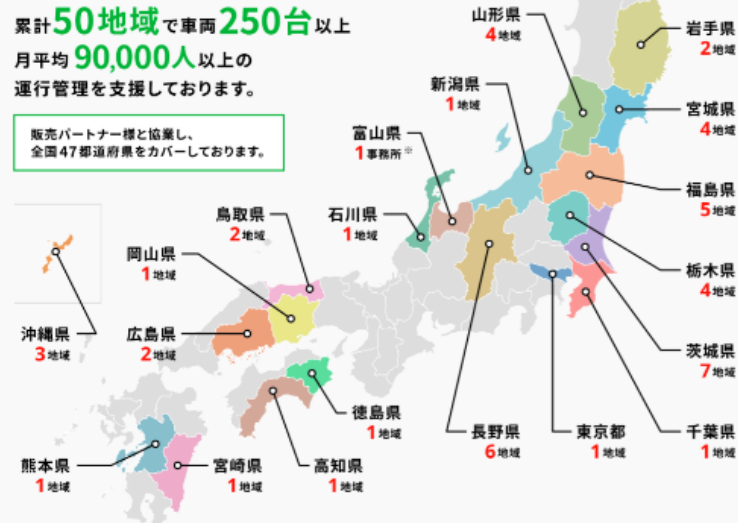


MaaSで変わる日本の交通
デマンド交通システムが、
これからの公共交通を支えます

システム採用実績 / 導入地域

累計**50地域**で車両**250台**以上
月平均**90,000人**以上の
運行管理を支援しております。

販売パートナー様と協業し、
全国47都道府県をカバーしております。





株式会社メタ・イズム

技術とアイデアで 未来を創造する

私たちは **イズム** を超えて 未来社会をデザインします